

原子力エネルギーシステムシンポジウム
「トリウム燃料を利用した原子炉開発の課題と展望」
－世界各国および我が国の研究開発状況を知り、今後の課題と展望を探る－

1. 日時

平成25年5月17日(金) 9時30分～17時50分

2. 会場

静岡県男女共同参画センター「あざれあ」大ホール

静岡市駿河区馬淵1丁目17-1 (静岡駅北口より西へ徒歩10分)

<http://www.azarea-navi.jp//>

3 主催・共催・後援

主催: 一般社団法人日本原子力学会中部支部 原子力エネルギーシステム研究委員会

共催: 一般社団法人火力原子力発電技術協会中部支部

後援: 静岡県

4 プログラム

9:30～9:40 開会の挨拶

名古屋大学教授 榎田洋一(原子力エネルギーシステム研究委員会 主査)

<第一部「世界各国のトリウム原子炉の開発状況」>

9:40～10:20 講演1

「トリウム利用に関する研究開発の現状(概要)」(仮題)

京都大学教授 宇根崎博信

10:20～11:20 講演2

「中国におけるトリウム・熔融塩炉の開発状況」(仮題)

中国科学院上海応用物理研究所 徐洪杰

11:20～12:20 講演3

「米国におけるトリウム・熔融塩炉の開発状況」(仮題)

米国オークリッジ国立研究所 David Holcomb

< 第二部「我が国のトリウム原子炉研究開発の現状と課題」>

13:40～14:10 講演1

「日本におけるトリウム・熔融塩炉の開発状況」(仮題)

NPO法人「トリウム熔融塩国際フォーラム」理事長 吉岡律夫

14:10～14:40 講演2

「熔融塩取扱技術の現状と課題」(仮題)

電力中央研究所副研究参事 小山正史

14:40～15:10 講演3

「トリウム炉の安全研究・工学的研究の現状と課題」(仮題)

福井大学教授 山脇道夫

15:10～15:40 講演4

「トリウム資源の現状(コスト等)と核不拡散性」(仮題)

東京都市大学教授 高木直行

< パネル・ディスカッション「トリウムを利用した原子炉の研究開発の課題と今後の展望」>

16:00～16:30 基調講演

「トリウムを利用した原子炉の研究開発の課題と今後の展望」(仮題)

京都大学教授 山名元

16:30～17:30 パネル・ディスカッション

コーディネータ: 京都大学教授 宇根崎博信

パネラー: 講演者より

17:30～17:40 総括

静岡文化芸術大学理事長 有馬朗人

17:40 閉会の挨拶

名古屋大学教授 榎田洋一(原子力エネルギーシステム研究委員会 主査)

5 参加費

無料